

公有水面埋立法案特別委員會議事速記録第一號

委員氏名

委員長	伯爵清棲	家教君
副委員長	江木	千之君
	子爵藤谷	爲寛君
	男爵南岩倉	具威君
	男爵安藤	直雄君
	男爵今國	國貞君
	阪本	鈺之助君
	西久保	弘道君
	中山	嘉兵衛君

大正十年三月十六日(水曜日)午後一時二十五分開會

○委員長(伯爵清棲家教君) 是ヨリ開會ヲ致シマス、政府委員カラ大體ノ御説明ヲ……

○政府委員(小橋一太君) 既ニ本會議ニ於キマシテ、内務大臣ヨリ極ク大體ノ提案ノ理由ヲ申述ベラレタノデアリマスガ、此場合ニ提案ノ理由ヲ少シク補足シテ、次ニ條項中ノ主モナル點ヲ申上ゲテ置キマス、公有水面埋立ニ關スル現行法ニハ御承知ノ通り官有地取扱規則中ニ僅ニ一箇條アリマスノデ、其餘文ハ「官ニ屬スル公有水面ヲ埋立テ民有地ト爲サンコトヲ請フモノアルトキハ公衆ノ妨害トナラサル部分ニ限リ之ヲ許スコトヲ得」ト云フノガ御承知ノ官有地取扱ノ一箇條デアリマシテ單ニ此一箇條ニ止ッテ居リマスノデ、從來ハ内務省ノ訓令ヲ以チマシテ其趣意ニ關スル準據スベキモノヲ定メテ、漸ク僅ニ間ニ合セテ居ッタヤウナ譯デアリマスノデ、到底埋立企業等ニ圓滿ナル遂行ヲ期スルコトニハ困難ナル事情デアリマスルシ、殊ニ埋立區域内ニ他人ノ權利ガ存在致シマス場合例ヘバ漁業權ノ如キモノデアリマスガ、其場合ニハ一々其權利者ノ承諾ヲ得ナケレバ埋立ヲ爲スコトガ出來ナイヤウナコトデアリマシテ、勿論權利ハ一面尊重致サナケレバナリマセヌケレド

モ、埋立ガ極メテ有利有益ナル事業デアツテモ、其區域内ニハ僅ナル權利存在ノ爲ニ其遂行ガ阻害セラレ、ソレノミナラズ又ヤラムトスレバ無理ニ相當ナル浪費ヲ負擔シテ其事業ヲ行ハナケレバナラヌト云フヤウナ、餘儀ナイ場合ガ少ナクナイノデアリマス、又一面ニハ本案改正前公共ノ利益ト密接ナル關係ヲ有シマス場合ニ埋立ヲ致シマス場合ニ、其埋立ガ成功シタ後ニ於キマシテモ、埋立地ノ所有者其他ノ權利者ガ即チ埋立地ノ所有者ヲ繼承シタ次ノ權利者ヲシテ、其埋立地ノ利用方法等ニ關シマシテモ、特別ナル義務ヲ負擔スルノ必要ガアリマス、公共の事業其他ノ關係ニ於テ埋立地ヲ利用セシムル必要ガアリマスケレドモ、從來ハ此點ニ關シテ何等ノ法規ガアリマセヌノデ、其公共の埋立地ヲ將來續イテ利用セシムムトスルノ權利義務ヲ繼承シテ第三者ニ及ンダ時ニ、必要ナル取締リヲ全ウスルコトガ出來ナイ缺點ガアルノデアリマス、以上二ツノ點ハ從來取扱ヒ來ッテ居リマスル實驗上ニ於テ埋立事業ノ一方公益カラ見テ非常ナ不便ヲ感ジタ主ナル點デアリマス、加之時勢ノ進展ニ伴ヒマシテ埋立ヲ計畫致ス者ハ著シク増加致シテ參リマシタデ、最近十箇年ニ免許ヲ受ケタ者ニ付テ調査ヲ致シマスルニ、年ヲ逐ウテ増加ノ趨勢ヲ示シテ居リマス、大正七年ニ於キマシテ免許致シマシタル埋立地積ハ、明治四十二年ニ於テ免許シタ者ノ約八倍ノ増加ヲ示シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、而シテ一面ニハ申ス迄モナク食糧問題等ノ解決ノ爲ニ耕地ノ造成等國家ノ事業トシテモ、又民間ノ事業ト致シマシテモ、其方法ナルコトハ申迄モナイコトデアリマスガ、尙ホ此土地ノ發達、商工業ノ獎勵ニ連レマシテ、港灣ノ設備ヲ要シ、工場ノ敷地、宅地等ヲ造成スルノ必要ガ、益、此數年間ニ必要ヲ感ジテ參ッタヤウナ次第デゴザイマス、サウ云フ風ニ埋立事業ハ益、緊切必要ヲ加ヘ來タリマスルノニ、先刻申上ゲマスルヤウニ

何等完全ナル法規ガナイ、僅カニ一箇條存在スルノデ、取扱上、此事業ノ進行上ニ、又取締上ニ對シテ、非常ニ不便ヲ感ジテ居リマスカラ、唯今御手許ニ差出シテ居リマスルヤウニ、四十九箇條ニ互リマスル所ノ法案ヲ制定イタシタ次第デアリマス、次ニ本案ノ第四十九箇條並ニ附則ノ案ニ付キマシテ、重ナル條項ヲ説明申上ゲテ、御聽ニ達シテ置キタイト思ヒマス、第一條ハ此公有水面ノ意義ヲ定メマシテ、本法ヲ施行イタシマスル所ノ埋立ノ範圍ヲ明カニ致シマス、又從來ノ干拓ハ此埋立ト取扱ヲ異ニ致シテ居リマシタケレドモ、其結果カラ見マスレバ、埋立ト毫モ區別ヲスル必要ガアリマセヌノデ、本法ニ於テハ、干拓モ埋立ト看做シマシテ、埋立ノ中ニ這入ルト云フコトニ致シタ次第デアリマス、次ニ第二條ニ於キマシテ、此埋立ノ免許ノコトデゴザイマスガ、是ハ從來ノ取扱ヲ履ミマシテ、地方長官ノ職權デ、其許可ヲ與ヘルヤウニ致シマシタ次第デアリマス、第三ニ申上ゲマスルノハ、是ハ先ニモ申上ゲマシタル所ノ、埋立區域ニ於ケル公有水面ニ關シテ、權利ヲ有スル者、及ビ權利ナクモ利益ヲ有スル者ノ處置ニ對スル規定デアリマシテ、ソレハ第四條第十條ニ規定シテ居リマス、是ハ從來此埋立企業者ガ、是等ノ權利者ト協定ヲサ致シケレバ如何ニ有益ナル埋立事業ト雖モ、遂行イタスコトガ出來ナイノデゴザイマシタガ併シ先ニモ申シマスルヤウニ、國民經濟ノ上カラ見マシテ、寧ろ是ハ埋立地ニシテ、埋立區域内ノ小ナル區域ヲ消滅セシメルガ、國民經濟ノ上ニ於テ利益デアルト云フ場合ニハ、其權利ノ消滅ヲサシテモ、其埋立ノ事業ヲ達スル方法ヲ執ッタ方ガ宜シイ、勿論權利ヲ有スル者ニ對シテハ、埋立ノ許可ヲ受ケタル者ニ、損害ノ防止、損害ノ補償ヲナサシメル等、ソレニ應ズルコトヲ致サシメル規定ニナッテ居リマス、ソレカラ公有水面ニ付キマシテ、權利ヲ有スト雖モ、公有水面ノ利用ニ關シマシテ、特別ニ

施設ヲナシテ、其埋立ノ爲ニ、其効用ヲ妨ゲヲナス
ト云フコトニハ、是デ相當ノ救済ノ途ヲ講ジナケ
レバナラヌ、或ハ海面若クハ河川ニ沿ヒマシテ、其
沿岸、特ニ所有者ガ、種々ナル設備ヲシテ居ルモ
ヲ、埋立ノ結果ニ依ッテ害セシムルガ如キハ、之ニ
對スル補償、救済ノ途ヲ設ケナケレバナラヌト云
フコトニ致シタノデアリマス、以上ノ點ニ付テ既
存ノ權利、利益ト、埋立企業ノ利害關係ト反スル場
合、企業ノ遂行ヲ圓滿ナラシムルコトニ致シタノデ
アリマス、其次ニ特ニ御耳ニ達シタイノハ、第十二
條ノ規定デアリマス、是ハ從來全クナイ規定デゴザ
イマスガ、埋立ノ免許料ヲ徵收シ得ル規定ヲ置イ
タノデアリマスガ、從來ハ此干拓ニ付テハ、代金ヲ
徵收シテ居リマシタガ、又河川ノ水面ノ利用ニ付
テハ專用料ヲ取ッテ居リマシタガ、是等ノ干拓及ビ
水面ノ利用ニ對スル料金ヲ取ッテ居タノト區別ヲ
スル必要ハアリマセヌカラ、之ヲ撤廢イタシマシ
テ、埋立ニシテ企業者ニ特ニ大ナル利益ヲ與ヘル
場合……總テノ場合ニ取ルト云フ譯デアリマセ
ヌガ、埋立ノ結果工場或ハ住宅地ト云フ大ナル利
益アル場合ニハ、免許料ヲ徵收シ得ル途ヲ開イタ
ノデアリマス、ソレカラ第十四條ニ埋立工事ノ遂
行上、規定ノ上ノ便宜ヲ得セシムルガ爲ニ、免許ヲ
受ケタル者ガ、埋立工事ノ爲ニ、他人ノ土地ニ立入
リ、其土地ヲ使用シ得ルノ途ヲ開キマシタ、次ニ
此第十三條乃至第二十條ニ於キマシテ、埋立ヲナ
シ、權利上ノ讓渡、承繼スル、ソレニ關係スル規定
ヲ成ルベク明カニ致シマシタ、從來モ斯ウ云フ事
實ハアリマシタガ、ソレハ明カニナッテ居ナイノ
デ、法文ヲ以テ明カニ致シタ、ソレカラ第二十二條
及第二十四條ニ於キマシテ、埋立工事ガ竣功イタ
シマシタ時ハ、竣功認可ヲ受ケシメ、公用又公共ノ
用ニ供スル爲ニ、必要ナル分ヲ除キマシテ、埋立免
許ヲ受ケタル者ハ、埋立企業地ノ所有權ヲ獨占的
ニ取得セシムルコトガ出來ルコトニナリマシタ、
是ハ從來ニ於テモ所有權ハ正確ニ與ヘテ居リマ
ス、第二十七條乃至第三十條ニ於キマシテ、公共ノ
利益ト密接ナル關係ヲ有シマスル港灣、河川、海岸

及其附近等ニ於キマシテ、埋立ヲナシマスル場合
ニ於テ、公益上ノ必要ニ依ッテ、其埋立ヲ特定ノ目
的、若ハ特別ナル義務ヲ課シタヤウナコトガ往々
ニシテアリマス、從來ハ其種ノ埋立ニ對シマシテ
ハ、埋立ノ竣功後、是等ノ義務ヲ有効ニ遵守セシム
ル方法ガナイノデアリマス、是ハ非常ナ缺點デア
リマシテ、是ハ特ニ前ニモ申上ゲマシタヤウナ次
第デアリマスカラ、第二十七條以下ニ於キマシテ、
之ニ關スル規定ヲ明記イタシマシテ、埋立地ニ關
スル權利ノ設定ニ付キマシテハ、免許狀ハ地方長
官ノ許可ヲ得ベキ旨ヲ定メマシテ、其場内ノ制限
モ登記イタシマシテ、何人ニモ對抗シ得ベキ途ヲ
開イタノデアリマス、從來ハ許可ヲ受ケタ者ダケ
ガ、繼承シテ居リマシタケレドモ、其所有權ヲ他人
ニ讓ッテ仕舞フハ、其義務ヲ後ニ讓ル所ノ第三者ニ
繼續セナイ爲ニ不安ナ事業デアリマシタガ、許シ
タ後ハ、埋立ヲ仕舞フ後、他ノ埋立ノ免許ヲ受ケ
タル目的以外ニ利用シテモ、ソレヲ果サセル方法
ハナカツタノデアリマスガ、其不便ヲ除ケル爲ニ、
特ニ此規定ヲ定メタヤウナ次第デアリマス、第三
十六條ニ於キマシテ、免許ヲ受ケズシテ、埋立ヲナ
シマシタ場合ニハ、從來府縣令ニ定メテアリマス
ル所ノ外、何等ノ精細ナル法規ガ存在イタシテ居
リマセヌカラ、單ニ埋立地ヲ官沒處分ニナシ來タ
ノデアリマスルガ、本法ニ於キマシテ之ニ關シマ
スル所ノ所謂水面埋立ニ關スル所ノ罰則ヲ定メマ
スルト共ニ、公益上支障ナキ場合ニ於キマシテハ
其埋立ヲ追認スルコトヲ得セシメ、又其埋立ニ於
ケル損失ヲ防止スル施設又原狀回復ヲ命ズルノ規
定ヲ明カニ致シマシタ、其外、此條文ハ必要ナル取
締方法又ハ罰則訴訟ノ規定デゴザイマス、ソ
レカラ終リニ特ニ申上ゲテ置キタイノハ、衆議院
ニ於テ政府ノ提案ニ條正ヲ加ヘマシタ、第五十條
ト致シマシテ「本法ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ公有
水面ノ一部ヲ區劃シ永久的設備ヲ築造スル場合
ニ之ヲ準用ス」ト云フ一箇條ヲ追加條正ニナリマ
シテ、政府ニ於テハ是ニ同意ヲ致シマシタ、元ト此
公有水面ハ陸地造成ノ目的ヲ達スルニ必要ナル規

定ヲ定メマシタカラシテ、陸地造成ト云フ考カラ
シテ此第五十條ノヤウナ場合ニ付テハ、加ヘテ置
カナカツタノデアリマスルケレドモ、例ハハ養魚池
或ハ船渠ノ施設ト云フ如キ非常ナル巨額ノ金ヲ投
シ、或ハ堅牢ナ設備ヲシテ、是ガ所有權ヲ認メテ保
護シタ方ガ事業ノ發達上適當ナリト云フヤウナ場
合ハ、陸地ノ造成デアリマセヌガ、其保護スル
云フ點カラ云ヘバ此法律ヲ準用シテソレ等ノ事業
ノ遂行ヲ滑カニスルガ適當デアルト云フ考ヲ以チ
マシテ、衆議院ノ條正案ニ同意ヲ致シタ次第デゴ
ザイマス、概要申上ゲマシタノハ右ノ通りデアリ
マスルガ、尙ホ逐條ニ互リマシテハ御尋ニ應ジマ
シテ詳細ヲ申上ゲルコトニ致シマス

○江木千之君　マダ私ハ逐條ヲ拜見シテ居リマセ
ヌカラ、今日詳シイ質問ハ出來マセヌガ、何レ此次
ノ會迄ニハ少シ調ベテ來テ質問ヲ致シタト思ヒ
マス、差向キ御説明ヲ承ハル中デ心ニ浮ンデ來タ
疑ハ、是ハ一體凡テ地方長官ノ許可ニ任シテアル
ヤウデスガ、ソレガ地方長官ノ許可ト云フコトダ
ケニナッテ居ルト、餘程公益上ニ於テ非常ナ差支ヲ
生ズル場合ガアリハシナイカト云フ考ヲ起ス、例
ヘバ茨城縣ノ霞ヶ浦デスナ、アノ湖水ノ埋立ヲ拵
ヘルニ付テ、若シ茨城縣知事ガ之ヲ許シタナラバ、
アレハ栃木縣ニモ埼玉縣ニモ非常ナ影響ヲ及ボ
ス、アノ湖水ト云フモノハ今一ツノアスコニ水ヲ
吐カス所ニナッテ居ルノデアアル、若シアレニ段々廣
イ埋立地デモ拵エルコトニナレバ利根川ノ水ヲ吐
カス所ハナクナッテ、上流ノ土地、對岸ノ埼玉縣ナ
ドハ非常ナ害ヲ受ケルコトニナル、サウ云フ場合
ニハ、サウ云フ他府縣ニ關係ヲ有ツヤウナ場合ニ
ハ、矢張り内務省デ許可スルトカ何トカ云フコ
トニナラヌト、其土地ノ屬シテ居ル茨城縣知事ガ許
シタナラバ大變他ニ害ヲ及ボスコトニナルト云フ
ヤウナ疑ガ起ルガ、其邊ハドウデアリマスカ

○政府委員(小橋一太君)　唯今ノ御尋ハ洵ニ御尤
モナ御尋ト思ヒマスガ、先刻私ノ説明洩レガ少シ
アリマシタ爲ニ、御尋ガ出タコト、思ヒマスガ、從
來ノ取扱ト致シマシテモ埋立地積ノ大ナルモノ、

ソレカラ兩縣ニ關係スル場合、兩縣ニ關係スルヤ
ウデナクテモ其埋立ノ關係上、治水上其他ノ關係
ニ於テ他府縣ニ影響ヲ及ボスヤウナ場合ハ、内務
大臣ノ認可ヲ受ケマスルヤウニ致シテ居リマス、
此度ハ第四十七條ニ其事ヲ明カニ規定致シマシ
タ、「本法ニ依リ地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ勅
令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケシムル
コトヲ得」トシテ、勅令ニサウ云フ必要ナ場合ヲ列
記シテ、内務省迄持ッテ來ルヤウニ致シマシテ、内
務省ニ於キマシテハ兩縣或ハ數府縣ノ關係若クハ
治水上其他ノ公益上ノ關係ヲ研究致シマシテ、技術
其他ノ關係モ考慮致シテ、必要ナル區域ニハ認可
ヲ與ヘテ許可ヲ致サセヤウト云フ考デアリマス
○江木千之君 是ハ原則ヲ定メルナラバ、何モ勅
令ノ定ムル所ニ依ルト言ハナイデモ、法律ヲ以テ
利害關係ガ數府縣ニ互ル場合ニハ主務大臣ノ認可
ヲ受ケベキモノダト云フ法律ノ條文ニシテ置イタ
ラ、ソレデ宜カリサウニ思フノデアリマスガ、勅令
ノ定ムル所ニ依ルト云フノデ、勅令デ以テ印旛沼
ヲ埋立テトラドウトカ、霞ヶ浦ヲ埋立テトラドウダ
トカ、全國有ユル場所ニ付テ、何處ニ埋立ガ起ルカ
分ラヌノニ、ソレヲ列記シテ勅令デ示ス譯ニハ到
底行クマイト思ヒマス、サウシマスレバ矢張法律
ニ於テ利害關係ガ數府縣ニ互ル場合ハ主務大臣ノ
認可ヲ受ケサセル、河川法ナドデモ矢張り利害關
係ガ數府縣ニ互レバ主務大臣ニドウスルト云フコ
トニナッテ居ル、サウ云フ規定ニナッたら單純ダラ
ウト思ハレルガ、勅令ノ定ムル所ニ依ルト云フノ
ハ、ドウ云フ譯デスカ
○政府委員(小橋一太君) 成程法ノ立方ニ於キマシ
テ御意見ノヤウナ法モアラウト思ヒマスガ、從來
斯ウ云フ場合ニ列記式ヲ取ッテ立法シタコトモア
ルヤウデゴザイマスガ、是ハ大分場合ガ種々ニ分
レテ居リマスノデ勅令ニ讓ッタ方ガ宜クハナカラ
ウカト云フ考デ規定シタノデアリマスガ、唯今御
尋ノヤウニ或ハ印旛沼トカ或ハ何處ト云フヤウニ
場所ヲ指定スル積リデハアリマセヌガ、先刻申上デ
マシタヤウニ其面積ガ何町歩以上ノ水面ヲ埋立テ

ル場合、或ハ其工事ガ二府縣以上ニ關係ヲ及ボス
場合、或ハ二府縣ニ互ラズトモ對岸ガ他府縣ニ屬
シテ場居ル合ト云フヤウナ、其事項ハ御參考トシ
テ差上ゲテ置キマシタガ、其方ガ運用上便利ダラ
ウト思ヒマシテ、勅令ノ規定ニ讓ッタヤウナ次第デ
アリマス、尙ホ先刻チヨット申上ゲタト思ヒマス
ガ、從來ヨリモ此方ガ嚴重ニナッテ居ルト云フコト
ハ、從來ハ地方官ノ權限ニナッテ居ッタノデ、内務大
臣ノ認可ト云フコトト他ニ訓令ニ過ギナイノデア
リマシテ、場合ニ依テ知事ガ無斷デ許可シテモ其
許可ハ無効ト云フ譯デナカッタノデアリマスガ、是
ハ特ニ主務大臣ノ認可ヲ法律デ規定シマシタカラ、
認可ヲ經ズシテ無斷デ允許シタ場合ニ對スル設置
モ適當ニ付クヤウニナッテ居リマス、是ハ附加ヘテ
申シテ置キマス

○委員長(伯爵清棲家教君) 如何デゴザイマス、
皆サンニ御意見ヲ伺ヒマスガ、今日ハ豫算總會モ
ゴザイマスシ、本會議モゴザイマスノデ、今日ハ是
ニテ止メマシテ更ニ開會スルコトニ致シタイト思
ヒマスガ、ドナタモナンドスカ……ソレデハ今日
ハ散會イタシマシテ更ニ又日ヲ期シテ開キマス
午後一時五十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵清棲 家教君
副委員長 江木 千之君
委員 子爵藤谷 爲寛君
男爵南岩倉 具威君
男爵安藤 直雄君
男爵今園 國貞君
中山 嘉兵衛君

政府委員

內務次官 小橋 一太君
內務省土木局長 堀田 貢君

大正十年四月一日印刷

大正十年四月二日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局